ダントツフロアブル

改訂日:	Spec ID:	前回改訂日: 2024/02/01
2026/10/01	900000015747	初回作成日: 2013/07/04

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称　：ダントツフロアブル　(ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ水和剤)

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称　：住友化学株式会社

担当者　：アグロ事業部　お客様相談室
〒103-6020
東京都中央区日本橋２丁目７番１号

電話番号　：0570-058-669

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途　：農薬

使用上の制限　：推奨用途以外への使用は禁止する

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

爆発物	：分類できない
可燃性ガス	：区分に該当しない
エアゾール	：区分に該当しない
酸化性ガス	：区分に該当しない
高圧ガス	：区分に該当しない
引火性液体	：分類できない
可燃性固体	：区分に該当しない
自己反応性化学品	：分類できない
自然発火性液体	：区分に該当しない
自然発火性固体	：区分に該当しない
自己発熱性化学品	：分類できない
水反応可燃性化学品	：区分に該当しない
酸化性液体	：分類できない

酸化性固体	:	区分に該当しない
有機過酸化物	:	分類できない
金属腐食性化学品	:	分類できない
鈍性化爆発物	:	分類できない
急性毒性（経口）	:	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	:	区分に該当しない
急性毒性（吸入－ガス）	:	区分に該当しない
急性毒性（吸入－蒸気）	:	区分に該当しない
急性毒性（吸入－粉じん及びミスト）	:	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	:	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	:	区分に該当しない
呼吸器感作性	:	分類できない
皮膚感作性	:	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	区分 2（神経系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	区分 2（血液，卵巣，呼吸器系）
誤えん有害性	:	分類できない
水生環境有害性 短期（急性）	:	区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）	:	区分 1

オゾン層への有害性　：　分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル　：



注意喚起語　：　警告

危険有害性情報　：　H371 神経系の障害のおそれ。
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による血液，卵巣，呼吸器系の障害のおそれ。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き　：

安全対策:

P260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P264 取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。

応急措置:

P391 漏出物を回収すること。
P308 + P311 + P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡して、診察/手当てを受けること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物/容器は、国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って適切に廃棄すること。

追加ラベル

本製品において急性吸入毒性（蒸気）が未知である成分の合計値: 29 %
本製品において急性吸入毒性（粉じん及びミスト）が未知である成分の合計値: 3 %

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物

成分名称	CAS 番号	濃度(%)	化審法番号	安衛法番号
(*E*)-1-(2-ｸﾛﾛ-1,3-ﾁｱｿﾞｰﾙ-5-ｲﾙﾒﾁﾙ)-3-ﾒﾁﾙ-2-ﾆﾄﾛｸﾞｱﾆｼﾞﾝ (一般名：ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ)	210880-92-5	20.0	(5)-6732	8-(7)-1316
水、界面活性剤等	非開示	80.0	非開示	非開示

危険有害成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法(ENCS)/安衛法(ISHL) 番号
(*E*)-1-(2-ｸﾛﾛ-1,3-ﾁｱｿﾞｰﾙ-5-ｲﾙﾒﾁﾙ)-3-ﾒﾁﾙ-2-ﾆﾄﾛｸﾞｱﾆｼﾞﾝ (一般名：ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ)	210880-92-5	20.0	8-(7)-1316
1,2-ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｼﾞｵｰﾙ	57-55-6	>= 1 - < 10	2-234

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
口対口法を用いてはならない。
鼻、口、喉を水でゆすぐ。
体を毛布などで覆い、保温する。
すぐに救急の医療処置を受けること。
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。
汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医療処置を受けること。

眼に入った場合 : 眼を擦ってはならない。
まぶたを開いた状態に保つ。
できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
必要があれば医療処置を受けること。

飲み込んだ場合 : 口を水で十分にゆすぎ、意識を失っていない場合は多量の牛乳または水を飲ませる。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
体を毛布などで覆い、保温する。

すぐに救急の医療処置を受けること。
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。
呼吸が困難な時には、酸素吸入を行う。
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。
口対口法を用いてはならない。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。

応急措置をする者の保護 : 救助の際は保護具を着用する（「８．ばく露防止及び保護措置」を参照）。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水
泡消火剤
乾燥砂

使ってはならない消火剤 : 棒状水

特有の危険有害性 : 火災の熱などによる濃縮によって爆発するおそれがある。
加熱されたり火災に巻き込まれると、爆発的に分解するおそれがある。
混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。
燃焼ガスおよび/または分解ガスには、刺激性、腐食性および/または毒性のガスが含まれるおそれがある。
火災の際は有害なガス（「10. 安定性及び反応性」参照）が発生し、めまいや窒息や健康被害を引き起こすおそれがある。
消火水中に有害物が含まれ、環境や生物に影響を与えることがある。

特有の消火方法 : 危険でなければ漏れを止める。
火災がとめられない場合は、火災の拡大・類焼を防止するために噴霧散水により冷却しながら燃焼させたままにする。
消火活動中に過熱された容器が爆発するおそれがある場合には退避する。
全ての方向に爆発の被害を被らないような適切な避難距離を取る。
燃え広がった場合は、人が近づいて消火してはならない。爆発のおそれがある。
積荷が熱にさらされている場合は、積荷を積載した車両は移動してはならない。
火災の過熱によって、容器が爆発するおそれがある場合は、安全な距離を確保して消火活動を行う。
風上から作業する。
安全な場所から消火する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。

大規模火災で大量にある場合：区域より退避させ、十分に離れた距離から消火すること。
周辺の他の未燃可燃物の防護：可能かつ安全ならば、容器を移動させるか、散水などで冷却する。
外部火災からの製品防護：可能かつ必要がある場合は、製品の入った容器を安全な場所に移動させ、容器または周辺設備を水等で冷却する。
消火剤で表面を覆い窒息消火する。
消火に用いた水は堰を作って囲い、環境に配慮した上で廃棄する; 物質がちらばらないようにする。

消火を行う者の保護 : 各国、地域で規定された標準の全身保護衣および空気式呼吸器(SCBA)を着用する。
防護面、ヘルメット、手袋を含む耐炎性防火服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 人体に対する注意事項
適切な保護具（「８．ばく露防止及び保護措置」参照）を着用して、飛沫等の眼または皮膚への付着や、ミストまたは蒸気の吸入をしないようにする。
緊急処置
風下の人を退避させ、風上から作業する。
関係者以外の立ち入りを禁止する。
周辺環境に、影響（健康被害を含む）を及ぼすおそれがある場合は、周辺の居住者に警告する。
付近の着火源となるものを、直ちに取り除く。
大きな安全地帯を設定する。
大量漏出の場合、蒸気を抑えるために泡を使用する。
大量の場合、噴霧散水は蒸気濃度低減に有効なことがある。
二次災害の防止策
全ての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等)を取り除く。
適切な消火剤を準備する（「5. 火災時の措置」を参照）。
排水溝、下水溝、地下室、くぼ地あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

環境に対する注意事項 : 環境中に放出しないこと。
漏出物が水系（河川や下水など）に流入して環境への影響を起こさないように、堤を作って堰止める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 速やかに回収する。
危険でなければ漏れを止める。
広がらないように堰を作り、後で廃棄する。
残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ、安全な場所に移す。
適切な吸収材に吸収させて回収する作業を繰り返し、全量を

回収する。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／機器を使用すること。
全ての着火源(熱/火花/裸火/高温表面/静電気放電、等)を取り除く。
漏洩または漏出物を回収する場合は、専門家のアドバイスを求める。
残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。
回収作業は、安全取扱い（「7.　取扱い及び保管上の注意」参照）措置をしたうえで実施すること。
廃棄方法は「13. 廃棄上の注意」を参照。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	:	全ての着火源を取り除く。 静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／機器を使用すること。 ミストの発生を防止する。 漏洩ばく露に備えて、風上から作業する。 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 設備対策を行い、保護具を着用する（「８．ばく露防止及び保護措置」参照）。 ミスト／蒸気を吸入しないこと。 眼や口に入れない、また皮膚に付けない。 眼、皮膚、衣服への接触を避ける。 休憩場所には、汚染された保護具を持ち込まないこと。 皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らない様に適切な保護具を着用する。 可能な限り、使い捨ての保護衣を着用する。 汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。 汚染された保護衣は安全な方法で廃棄すること。
局所排気，全体換気	:	局所排気および/または全体換気を行う。
安全取扱注意事項	:	混触危険物質（「10. 安定性及び反応性」参照）から離しておく。
衛生対策	:	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 密閉系で取り扱えない場合は、屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 本製品を吸入してはならない。 ヒトへのあらゆるばく露を避けること。 眼や口に入れない、また皮膚に付けない。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された作業衣は、適切な方法で廃棄または洗浄・再利用

すること。
汚染された保護具、作業衣等を処分する際は、周辺環境を汚染することがないように適切な方法を用いること。
取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚をすべてよく洗うこと。

保管

安全な保管条件 : 耐火設備を備えた場所に保管する。
保管場所には、必要な採光または照明および換気の設備を設ける。
施錠して保管すること。
静電気対策（アースやボンディング、帯電防止作業靴と作業服の着用、アースされた導電性床の採用、等）を講じる。
容器の静電気対策（アースやボンディングされた導電性床上での保管、等）を講じる。
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。
直射日光を避ける。
冷所に保管。
換気の良い場所で保管すること。
容器を密閉しておくこと。
排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。
「10. 安定性及び反応性」を参照。

安全な容器包装材料 : 国連輸送勧告が指定する容器を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標（ばく露形態）	管理濃度 / 濃度基準値 / 許容濃度	出典
(*E*)-1-(2-ｸﾛﾛ-1,3-ﾁｱｿﾞｰﾙ-5-ｲﾙﾒﾁﾙ)-3-ﾒﾁﾙ-2-ﾆﾄﾛｸﾞｱﾆｼﾞﾝ（一般名：ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ）	210880-92-5	OEL-M	0.4 mg/m³	日本産業衛生学会（許容濃度）
	詳細情報: 第 3 群： ヒトに対する生殖毒性の疑いがある物質			
		TWA（吸入濃度）	0.1 mg/m³	ACGIH

設備対策 : 吸収装置を備えた局所排気装置および/または全体換気装置を使用する。
取扱場所に、手洗い設備、洗身洗眼設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具 : 呼吸用保護具は、適切な保護具を使用する。
緊急時および漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器(SCBA)を着用する。
防毒マスク

手の保護具 : 手の保護具は、適切な保護具を使用する。

不浸透性保護手袋

眼の保護具 : 眼の保護具は、適切な保護具を使用する。
安全ゴーグルまたは保護眼鏡と防災面

皮膚及び身体の保護具 : 個人用保護具(PPE)は、適切な保護具を使用する。
帽子、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 類白色

臭い : データなし

融点／凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界

爆発範囲の上限 / 可燃上限値 : データなし

爆発範囲の下限 / 可燃下限値 : データなし

引火点 : 方法: クリーブランド開放式
データなし（試験中にサンプルから生じた不燃性蒸気によって試験炎が消炎した）

分解温度 : データなし

pH : 6.1 (20%水懸濁液、20℃)

蒸発速度 : データなし

自然発火温度 : データなし

粘度

粘度(粘性率) : 618 mPa.s (25 ℃)

動粘度（動粘性率） : データなし

溶解度

水溶性 : データなし

溶媒に対する溶解性 : データなし

n-オクタノール／水分配係数（log 値）	：	データなし
蒸気圧	：	データなし
密度及び／又は相対密度		
比重	：	1.09 (25 ℃)
密度	：	データなし
相対ガス密度	：	データなし
粒子特性		
粒子サイズ	：	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性	：	通常状態で安定。
危険有害反応可能性	：	熱、化学反応、摩擦、または打撃によって分解が始まり、急激な温度上昇と圧力上昇をもたらすおそれがある。 加熱されると分解して、容器の破裂に至るおそれがある。 加熱されると分解して、火災や爆発に至るおそれがある。 ミストは、温度によらず空気と爆発性混合物を形成するおそれがある。 塩基 裸火 機械火花 電気火花 溶接火花 高温表面 静電気放電 ：火災や爆発のおそれ 加熱 機械的衝撃 酸化剤 酸 ：火災、爆発、および有毒ガスの発生のおそれ 次亜塩素酸塩類 ：熱的衝撃および/または機械的衝撃などで容易に分解する不安定物質を生成するおそれ
避けるべき条件	：	裸火 機械火花 電気火花 溶接火花 加熱

		高温表面 静電気放電 機械的衝撃
混触危険物質	:	酸 塩基 次亜塩素酸塩類 酸化剤
危険有害な分解生成物	:	一酸化炭素 二酸化炭素 炭化水素 すす 窒素酸化物 アンモニア 硫黄酸化物 塩化水素 塩素化合物 ケイ素化合物 ケイ酸 無機成分を含む微粒子が発生するおそれがある。

11. 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報	:	経口 吸入 経皮 眼

急性毒性

製品:

急性毒性（経口）	:	LD_{50}（ラット）: > 2,000 mg/kg 標的臓器: 神経系
急性毒性（吸入）	:	ATEmix: > 5.0 mg/l 方法: 計算値 備考: 粉じん、ミストおよび煙 ATEmix: > 20.0 mg/l 方法: 計算値 備考: 蒸気
急性毒性（経皮）	:	LD_{50}（ラット）: > 2,000 mg/kg 標的臓器: 特定標的臓器は認められない。

成分:

1,2-ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｼﾞｵｰﾙ:

急性毒性（吸入）	:	LC_{50}（ラット）: > 44.9 mg/l ばく露時間: 4 h

標的臓器: 特定標的臓器は認められない。
備考: 粉じん、ミストおよび煙

硫酸:

急性毒性（吸入） : LC_{50}（ラット）: 375 mg/m^3
ばく露時間: 4 h
標的臓器: 利用可能な情報に基づく限り分類できない。
備考: 粉じん、ミストおよび煙

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ:

急性毒性（吸入） : LC_{50}（ラット）: > 6.141 mg/l
ばく露時間: 4 h
標的臓器: 特定標的臓器は認められない。
備考: 粉じん、ミストおよび煙

皮膚腐食性／刺激性

製品:

種 : ウサギ
結果 : 刺激性なし

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品:

種 : ウサギ
結果 : 刺激性なし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品:

試験タイプ : 皮膚感作性
種 : モルモット
方法 : ビューラー法
結果 : 感作性なし

生殖細胞変異原性

製品:

in vitro での遺伝毒性 : 備考: データなし

in vivo での遺伝毒性 : 備考: データなし

成分:

1,2-ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｼﾞｵｰﾙ:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験

結果: 陰性

試験タイプ: 染色体異常試験
テストシステム: ヒトリンパ球
結果: 陰性

試験タイプ: 染色体異常試験
テストシステム: 哺乳動物培養細胞
結果: 陽性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 優性致死試験
種: ラット
投与経路: 経口
結果: 陰性

試験タイプ: 染色体異常試験
種: ラット
細胞型: 骨髄
投与経路: 経口
結果: 陰性

試験タイプ: 小核試験
種: マウス
細胞型: 骨髄
投与経路: 腹腔内
結果: 陰性

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ: Ames 試験
テストシステム: ネズミチフス菌および大腸菌
結果: 陰性

試験タイプ: 遺伝子突然変異試験
テストシステム: チャイニーズハムスター細胞
結果: 陰性

試験タイプ: 染色体異常試験
テストシステム: チャイニーズハムスター細胞
結果: 陽性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ: 小核試験
種: マウス
投与経路: 経口
結果: 陰性

試験タイプ: 不定期 DNA 合成試験
種: ラット
細胞型: 肝臓

投与経路: 経口
結果: 陰性

発がん性

製品:

備考 : データなし

成分:

1,2-ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｼﾞｵｰﾙ:

種 : ラット
投与経路 : 混餌
方法 : 発がん性試験
結果 : 発がん性なし

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ:

種 : ラット
投与経路 : 混餌
方法 : 発がん性試験
結果 : 発がん性なし

種 : マウス
投与経路 : 混餌
方法 : 発がん性試験
結果 : 発がん性なし

生殖毒性

製品:

妊娠に対する影響 : 備考: データなし

胎児の発育への影響 : 備考: データなし

成分:

1,2-ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｼﾞｵｰﾙ:

妊娠に対する影響 : 種: マウス
投与経路: 飲水
方法: 2 世代繁殖毒性試験
結果: 生殖能に影響なし, 繁殖性に影響なし

胎児の発育への影響 : 種: ラット
投与経路: 経口
方法: 催奇形性試験
結果: 催奇形性なし

種: ウサギ
投与経路: 経口
方法: 催奇形性試験
結果: 催奇形性なし

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ:

妊娠に対する影響 : 種: ラット
投与経路: 混餌
方法: 2 世代繁殖毒性試験
結果: 繁殖性に影響なし

胎児の発育への影響 : 種: ラット
投与経路: 経口
方法: 催奇形性試験
結果: 催奇形性なし

種: ウサギ
投与経路: 経口
方法: 催奇形性試験
結果: 催奇形性なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

急性毒性（「11. 有害性情報」）を参照

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

製品:

備考 : データなし

成分:

1,2-ﾌﾟﾛﾊﾟﾝｼﾞｵｰﾙ:

種 : ラット
投与経路 : 吸入
方法 : 90 日間反復投与毒性試験
標的臓器 : 呼吸器系

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ:

種 : ラット
投与経路 : 混餌
方法 : 90 日間反復投与毒性試験
標的臓器 : 特定標的臓器は認められない。

種 : ラット
投与経路 : 混餌
方法 : 2 年間慢性毒性試験

標的臓器	:	卵巣
種	:	イヌ
投与経路	:	混餌
方法	:	90 日間反復投与毒性試験
標的臓器	:	血液

誤えん有害性

製品:

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

魚毒性	:	LC_{50} (コイ): > 1,000 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	EC_{50} (オオミジンコ): > 1,000 mg/l ばく露時間: 48 h
藻類／水生生物に対する毒性	:	ErC_{50} (藻類): 520 mg/l ばく露時間: 72 h NOEC (藻類): 130 mg/l ばく露時間: 72 h
魚毒性 (慢性毒性)	:	備考: データなし
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	:	備考: データなし

成分:

ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ:

魚毒性	:	LC_{50} (ニジマス): > 100 mg/l ばく露時間: 96 h LC_{50} (ブルーギル): > 117 mg/l ばく露時間: 96 h LC_{50} (コイ): > 100 mg/l ばく露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	LC_{50} (アミ): 0.053 mg/l ばく露時間: 96 h

EC_{50}（オオミジンコ）: 40 mg/l
ばく露時間: 48 h

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC_{50}（緑藻）: > 270 mg/l
ばく露時間: 72 h

ErC_{50}（藍藻）: > 100 mg/l
ばく露時間: 72 h

ErC_{50}（海産珪藻）: 33.2 mg/l
ばく露時間: 72 h

ErC_{50}（珪藻）: 67.2 mg/l
ばく露時間: 72 h

魚毒性（慢性毒性） : NOEC（ファットヘッドミノー）: 20 mg/l
ばく露時間: 33 d

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性（慢性毒性） : NOEC（アミ）: 0.0097 mg/l
ばく露時間: 39 d

NOEC（オオミジンコ）: 0.12 mg/l
ばく露時間: 21 d

その他生物に対する毒性 : ミツバチに対して影響がある。
マルハナバチに影響を及ぼすおそれがある。
蚕に対して影響がある。

残留性・分解性

生分解性 : 備考: データなし

生体蓄積性

生体蓄積性 : 備考: データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

オゾン層破壊係数 : 国際規制: UNEP - オゾン層を破壊する物質に関するモントリオール議定書のためのハンドブック
備考: リストに掲載なし

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

内容物/容器は、国および地方自治体（都道府県市町村）の規則に従って適切に廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号 (UN number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	環境有害物質、液体、n.o.s. (ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ混合物)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	9
環境有害性	:	該当

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	環境有害物質、液体、n.o.s. (ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ混合物)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	Miscellaneous
梱包指示（貨物機） (Packing instruction (cargo aircraft))	:	964
梱包指示（旅客機） (Packing instruction (passenger aircraft))	:	964

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	環境有害物質、液体、n.o.s. (ｸﾛﾁｱﾆｼﾞﾝ混合物)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	9
EmS コード (EmS Code)	:	F-A, S-F
海洋汚染物質(該当・非該当) (Marine pollutant)	:	該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

備考　：　輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
車輌、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他、緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのためで、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号　：　171

15. 適用法令

関連法規

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
プロパン－１，２－ジオール	106
アクリル酸重合物のナトリウム塩	161

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（則 34 条の 2 別表 2）

化学名	含有量 (%)	備考
（Ｅ）－１－（２－クロロ－１，３－チアゾール－５－イルメチル）－３－メチル－２－ニトログアニジン ； クロチアニジン	>=20 - <30	施行日 2027 年 4 月 1 日
プロピレングリコール	>=1 - <10	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（則 30 条 別表 2）

化学名	備考
（Ｅ）－１－（２－クロロ－１，３－チアゾール－５－イルメチル）－３－メチル－２－ニトログアニジン；クロチアニジン	施行日 2027 年 4 月 1 日
プロピレングリコール	－

皮膚等障害化学物質（労働安全衛生規則第 594 条の 2）

非該当

がん原性物質（労働安全衛生規則第 577 条の 2）

非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量（%）
（Ｅ）－1－（２-クロロ－１，３-チアゾール－５-イルメチル）－３-メチル－２-ニトログアニジン	616	20

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

高圧ガス保安法

非該当

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

個品輸送 : 海洋汚染物質

水質汚濁防止法

指定物質（法第２条４項、施行令第３条の３）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物

農薬取締法

農薬

16. その他の情報

本 SDS において労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含みます。

この安全データシート（以下「SDS」といいます。）に記載されている情報は、データシートの作成日現在において当社が保有している知見に基づき作成されたものです。SDS は対象製品の安全な取扱い、使用、加工、保管、輸送、漏洩時および廃棄に関する指針（ガイダンス）としてのご使用のみを意図して発行されるものであり、対象製品について明示、黙示を問わず何らかの保証を行うものでも、また品質規格を定めるものでもありません。また、SDS に記載された情報は、指定された特定の製品の単独利用の場合におけるものであり、SDS に明示的に記載された場合を除き、指定外の物質との併用や指定外の工程での利用において、対象製品が SDS に記載された情報と合致することを何ら保証するものでもありません。